



学校運営協議会だより

第2号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakawada/>

2月8日(木) 地域交流室にて、第4回学校運営協議会を開催致しました。今回は、1年間のまとめということで、校長から今年度の教育活動についての報告がありました。また学校評価アンケートや来年度の予定等も報告させていただきました。前回同様、授業参観を通し、学校へのご理解を今まで以上に深めていただく機会となりました。たくさんの意見交換ができ、充実した会となりました。



【 会長挨拶 】

1/2の空港の接触事故では18分間で脱出ができたことは奇跡。日頃の避難訓練がいかに大切か改めて知ることができた。一昨日の雪では、朝から雪かきを中和田小学校の職員の皆さんがしてくださっていて、保護者には伝わらないが、職員の頑張り感謝しています。

【 学校運営について 】

学校教育目標をもとに、今年度も「子ども一人ひとりを大切に誰もが安心して楽しく過ごせる学校づくり」を大切に行ってきました。特に、児童には「言葉・おもいやり・感謝・努力・ちがひ」について伝えてきました。担任だけではなく、組織的に丁寧に取り組んできました。今後の課題として、異学年交流にも進んで取り組み、学習に困難を感じる子、人間関係づくりが苦手な子、発達に課題がある子への支援をさらに充実させていきたいです。いじめ事案では、放課後やスマートフォンなどでのトラブルが増加しています。ICTを活用した一人ひとりにあった学習。教師の働き方改革(長時間勤務)を改善していきたい。今後も「信頼と連携」を大切に引き続きよろしくをお願いします。



【 学校だより変更 】

来年度より学校だよりと学年だよりが一つになります。情報の一元化。働き方改革。コスト削減から紙ではなくデジタル配信。地域には引き続き、紙で送る予定。来年度からマチコミではなく、市統一で「すぐーる」というアプリで保護者とのやり取りを行います。



【 授業参観・意見交換 】

- 子どものがんばっている様子がみられてよかった。習字など古きものを大切にしながら新しいものを入れていくことが大切。
- 授業は真ん中のレベルに合わせて行っている。本当にそれですべての児童がより良い学びを行えているのか心配。今後、習熟度別や様々な方向で授業のやり方の工夫が必要。
- 各学年の掲示物は見栄えもよく、学習の成果が感じられた。学校全体の方向性も感じられた。能登半島地震や東北の地震から、いつ、どこで起きてもおかしくない。出先で起きた場合、どうしたらいいのか?考えていく必要がある。
- 学校教育について一方通行ではなく、「自由さ」を感じる事ができた。各学年で工夫された学習がされていた。自分たちが自ら学ぼうとする力が培うことが大切だと思っている。



♪たくさんのご意見・ご協力ありがとうございました。来年度も引き続きよろしく願いいたします。♪